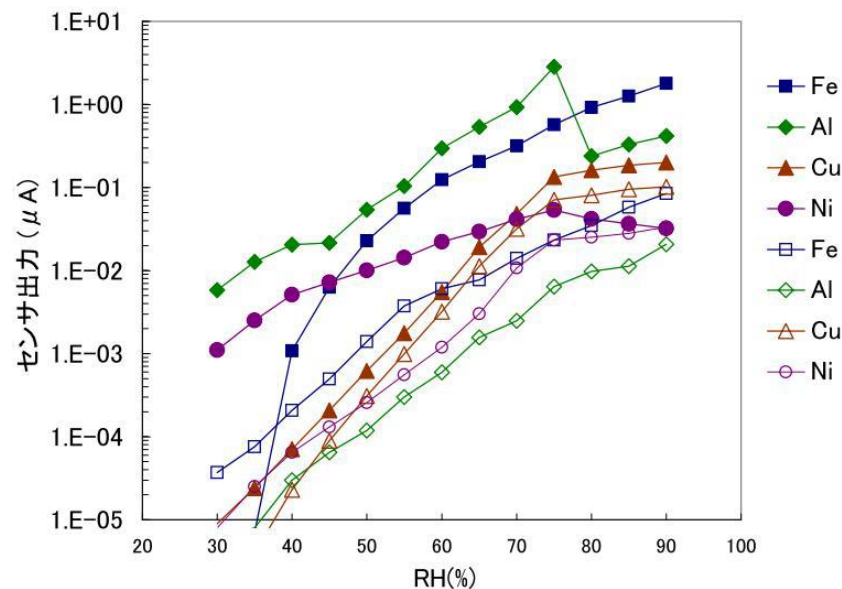


種々の基板で構成されたACMセンサの湿度サイクル試験

種々の基板で構成されたACMセンサに $0.01\text{g}/\text{m}^2$, $0.1\text{g}/\text{m}^2$ 相当の海塩を塗布するため、希釈した人工海水を滴下し、脱イオン水を加え全面を水溶液で覆うようにして 60°C のホットプレート上で乾燥させた。

これらセンサを恒湿槽内で相対湿度30%から30分間隔で5%ずつ90%まで、90%から同様に30%まで変化させたときの出力を測定した。出力値は下りの、相対湿度を変化させてから30分経過後のものを採用した。



種々のACMセンサ出力